

委員指摘事項	委員からの指摘等に対する回答及び質問
<p><b>【伊藤委員】</b>                      事前に気付きをお送りしたら丁寧なご返事をいただきましたので理解できました。                      それと今日、口頭で説明をしていただいてさらに曖昧なところも説明をお伺いすると分かるという面もありました。具体的には少しご紹介します。その時に整理番号かなにか付けていただくと探すとき、あるいは議論するときには便利かなという具合に思いました。例えば、〇〇課〇〇部その何番といった具合に分厚い資料、個票とこういった元気プロジェクトを探しだすのがちょっと大変なものですから次回から整理番号を付けていただいたら色々とお助けだと思います。</p>	<p><b>【総務企画部企画政策課】</b>                      令和4年度資料に反映させました。</p>
<p><b>【伊藤委員】</b>                      細かいことなのですが、先ほど元気プロジェクトの1ページ目中ほどのところで景観の町づくり団体数というのが成果指標であがっています。本文先ほどの説明では分かりましたので本文のほう、2年度、3年度の取組みのところで、こういった町づくり団体というのは市民の意識調整、あるいは参加意識を育てるために行っているから指標として取り上げるというような関連付けができると、もう少し親切かなと思いました。こういったものは他にもいくつかあると思います。もっと重要なのは、観光とか講演イベントの関係、ここでは健康スクリットがまたあと出てくるのですが、要はコロナ問題で実質動かなかった事業がたくさんあります。これを今はCかDかで評価されているのですが、影響が大きかったものについては評価保留ということもありうるのではないかと。そうすると分母から一旦外しておけば全体としての達成率もおそらく変わってきますので、これをどう扱うかはまた他の委員の方々のご意見もお伺いできればと思います。</p>	<p><b>【総務企画部企画政策課】</b>                      令和4年度資料においては、判定に係る事業等が実施されず判定が困難なものについては、「判定不可」とし、資料1の成果指標数Eから除いたかたちで資料を作成しました。</p>

委員指摘事項	委員からの指摘等に対する回答及び質問
<p><b>【百武委員】</b>                      去年も出てきた観光消費額の部分ですが、この地区はこの価格となっているのでというご説明があったのですが、その単価をどういうふうに上げていくかということが重要なのかなと思っているので、ここをどういうふうに、ただ与えられたものに掛け算だけだと、観光客数と変わらないのかな、観光客数と宿泊も関わっているのかもしれないですが、その部分をもう少し説明というか戦略を考えていただければと思いました。</p>	<p><b>【総務企画部産業振興課】</b>                      本市の観光消費額の増を図る上で、訪れる観光客は日帰りで通過型観光が多く、宿泊につながっていないことが課題の一つとしてあげられます。今年度、観光振興計画を策定しますが、竹原の認知度や来訪意向などを分析した上で、ターゲットや目標を設定し、滞在時間の延長及び宿泊につながる、より効果的な施策の検討などを進めていくことで、観光消費額の増につなげていきたいと考えております。</p>
<p><b>【百武委員】</b>                      今、伊藤先生がおっしゃられたように、ちょっと枠組みというか、評価表のところ工夫をしていただければと思う点があります。1つは、この基準値というのがコロナ前の基準値だと思いますので、前年、去年がどうだったかというのが結構重要なと思うのです。前年が分からないので、直近値がそれで去年より良くなっているとか、そういったことが分かるといいかなと思いました。</p>	<p><b>【総務企画部企画政策課】</b>                      令和4年度資料においては、判定に係る事業等が実施されず判定が困難なものについては、「判定不可」とし、資料1の成果指標数Eから除いたかたちで資料を作成しました。                      また、資料1の「(概ね)順調の率」に昨年度の率を( )で追加しました。</p>
<p><b>【百武委員】</b>                      それから、去年こちらで発言した内容について、どのように施策の中で取り入れられたかということについて、少し触れていただいている部分もあったかなと思うのですが、例えば、令和3年度に市が実施している取組みの中にでも、その辺について触れていただいている。「ちゃんと受け止めていただいているな」という事が分かるのでいいかなと思います。そこをちょっと明記していただくと「ああこういうような意見を言う」と取り上げてもらえるのかな」というのが分かるかと思っています。</p>	<p><b>【総務企画部企画政策課】</b>                      ご指摘いただいた点について、資料3及び4にて反映しました。</p>

委員指摘事項	委員からの指摘等に対する回答及び質問
<p><b>【百武委員】</b>                      個別のことで言いますと、先ほども出てきました景観まちづくり団体数の施策なのですが、どうしても令和3年度の施策を背景にすると、行政あるいは専門家のほうで、景観計画を策定してそれを住民に諮るというような、或いは景観ガイドラインを作って、それについて説明や勉強会を行うという感じになっているのですが、実は景観計画を作るというプロセスの中で、一緒に住民が関わることで理解を深めていったり、どういことを住民が求めているのかということ、その計画自体に盛り込んでいくことがすごく重要ですので、この計画の中に、そのプロセスをぜひ入れていただけたことを検討いただければなと思いました。</p>	<p><b>【建設部都市整備課】</b>                      景観計画策定するための住民意見反映プロセス                      ○観資源や景観特性の抽出、市民の景観に対する関心や今後の景観形成を行っていくうえでの意向等を把握し、景観計画に反映させるために市民を対象としたアンケート調査を実施した。                      ○竹原市に住む市民のみならずと行政と一緒に、今の竹原市のまちなみや将来に残したい景観について話し合い、良好な景観づくりに向けた取組を検討していくため、各テーマを設定し、公募により参加した市民を対象に景観づくり勉強会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 竹原市の“今”を見つめよう</li> <li>・第2回 竹原市の景観づくりの“将来”を考えよう</li> <li>・第3回 景観を守るアイデアを掘り下げよう</li> <li>・第4回 竹原市景観17選の選定➡竹原市景観計画の冊子等へ反映</li> </ul> <p>これらの勉強会での意見やアイデアについて、景観計画へ反映させたところ。                      引き続き官民連携で景観まちづくりに取り組んでいくこととしている。</p>

委員指摘事項	委員からの指摘等に対する回答及び質問
<p><b>【山川委員】</b> 2点目は、先ほど観光交流のところで、私が「SNSの活用等無いのですか」というようなことを問い合わせさせていただいたら「あります」ということで返ってきたのですが、取組みのところにそれがほとんど書かれていません。今日、説明の中で入っていましたので、ぜひ入れていただけたらと思いました。</p>	<p><b>【総務企画部産業振興課】</b> 本市の公式Instagram, ツイッター, フェイスブック及びLINEにより観光スポットやイベント情報など発信しております。取組としての説明に追加いたします。</p>
<p><b>【山川委員】</b> 3点目は、今後の検討課題として受け止めていただければと思うのですが、あるものの指標を変えるのは難しいのかもしれない。移住定住と商工業と両方関わるところで、移住定住と新規創業者数、同じです。商工業も1の新規創業者数、この創業者数の中には、変な言い方ですが新規の承継者というのは入っているのですか。竹原の中小企業者数というのは、私はよく存じないのですが、広島県は承継率が低い県ということで、全国的な統計ででていると思います。そうした中で、もちろん完全に新たな創業というのも重要なのですが、もう一つは事業承継がどれだけできているのかということも重要じゃないかと思っていまして、そのあたりが新規創業者数の中に入っていないとしたら、その部分が実はすごく重要で、入れる事ができるのなら入れたほうがいいのかと思います。</p>	<p><b>【総務企画部産業振興課】</b> 総合計画の指標として掲げている新規創業者数は、新たに事業を始めた方及び事業承継をされた方の数値も含めて算出する方法をとっております。</p>

委員指摘事項	委員からの指摘等に対する回答及び質問
<p><b>【和田委員】</b>                      2点目は、他の先生方もおっしゃっていましたが、コロナ禍における呼び込み、集客ですね。これ「えなりかずき」の心境なのですが「だってしょうがないじゃないか」という事だろうと思うので、これはD判定にしないで評価保留という伊藤先生のお考えに、私もそれでいいのかなというところがあります。行使難い状況があった時に評価不能ということでやむなしでもいいのかなと思います。数値的に見ると、確かにDになるのだらうと思いますがというふうに思います。その時に新しい観光というのは今からどう考えたらという時に、例えば、インバウンドというのを今後の取組みに書かれています、にわかには無理だろうなと思いますので、星野リゾートの社長がやっておられるようなマイクロリゾート、マイクロツーリズムをこの時期にしっかりやりますとか、あとは、サービスとかプログラムの開発とか、あるいは、連携の仕組みですね。このあたりをどう作っていくかというところに重点を置いてやっていくべきではないかなというのが2点目です。</p>	<p><b>【総務企画部産業振興課】</b>                      地方創生推進交付金を活用した事業としては、平成30年度から令和2年度までは、国内及び近隣県向けの観光プロモーションに取り組み、令和3年度から引き続き令和4年度もインバウンド向けの観光プロモーションを進めていくこととしております。なお、昨年度造成した新たな観光プロダクトは、国外観光客に限らず国内観光客向けにも販売し、利用いただけるものとなっております。また、今年度観光振興計画の策定において、観光客のニーズ等を分析し、国内・国外、また近隣エリアなどターゲットや目標を設定し、より効果的な施策を検討してまいります。引き続き、市内観光関連事業者や広島県観光連盟とも連携しながら、近隣県を始めとする国内へ情報発信をしつつ、アフターコロナを見据え、また、大阪万博に向けて、国外への旅行商品の造成・販売や本市観光情報の発信を行っていきたいと考えております。</p>